

まちの



国際交流

伯耆町の国際交流は、合併前の岸本町と溝口町の国際交流を引き続き実施予定です。では、どんな交流をしてきたのか、合併前の岸本町と溝口町の交流について紹介します。

溝口

溝口の国際交流事業は、平成五年に河北省沧州市を溝口町長、溝口町議会などの幹部が沧州市を訪問。平成六年に沧州市と友好交流関係意向書を締結してから、中国との交流が本格的に始められました。平成七年から一年間、沧州市人民政府職員劉(リュウ)氏を国際交流員として溝口町役場企画課で受入れました。劉氏には、現在も溝口町との交流の橋渡しとして協力していただいています。また、雑技団が平成十年には来町し、平成十四年には第十七回国民文化祭「わらべまつり」に出演しました。平成十五年には沧州市人民政府農業視察団を受入れ、溝口町海外派遣団が呉橋県を訪問しました。

以後、県の協力を得て、平成十六年度から三年間、中国

河北省沧州市とスポーツ団体等の交流を実施することになりました。平成十六年度は、小学生のサッカー交流が実施されました。平成十七年度、十八年度にもスポーツ交流を予定しています。



岸本

岸本の国際交流事業は、平成十三年十一月に岸本中学校で「岸本中学校国際交流シンポジウム」が実施されたことから始まりました。当時は、米子空港に韓国便が開設され、韓国へ短時間で行くことが可能になり、韓国への関心が高まりつつありました。このシンポジウムは、岸本中学生を対象に実施され、内容は韓国に関する講演会、チエギ(韓国の蹴鞠)とチヨゴリ(韓国の民族衣装)の披露、また、「国際交流って何?」をテーマとしたシンポジウムでした。当

時韓国の日本人学校勤務から帰ってこられた岸本在住の小学校教諭、県の韓国出身の国際交流員、中学校教諭、町内在住の青年海外協力隊OBなどの協力を得て実施されました。平成十四年度、十五年度には、韓国ソウル市への研修旅行も含んだ十回程度の「韓国を知ろう!講座」が実施され、各年度十名ずつが韓国の文化や歴史を熱心に学び、修了の際には、研修成果の発表会を町内施設で行い、学んだ韓国の文化や歴史を参加した町民に広く伝えるような講座でした。ソウル市での研修では町内出身の方にも協力いただき実施されました。平成十六年度には、韓国現地研修旅行は実施せず、韓国の伝統や文化、歴史などを学ぶ講座が実施されました。この数年にわたる講座で、町内で韓国に関心を持つ方が増えてきました。平成十七年度も、伯耆町民を対象に韓国講座を実施していく予定です。伯耆町韓国講座の受講生募集内容をこの頁の下に載せていますので、興味のある方はぜひお申込みください。

平成17年度 国際交流推進事業

伯耆町韓国講座 受講生募集!

韓国の文化、言葉、歴史…、日本とよく似ているところ、異なっているところ、ご存知ですか? この講座では、「韓国」の基本的なことについて学びたいと思います。

開催日 年間全10回の講座。(月1~2回程度実施)
 <平日午後6時30分~8時30分の2時間(8回)、土曜または日曜の2~4時間程度(2回)>

会場 農村環境改善センターなど

対象 伯耆町在住で、できるだけ全日程参加できる方で、韓国に興味のある意欲ある方。

定員 20名(先着順)

参加費 料理講習会等で材料費1,000円程度自己負担の必要な場合があります。

内容 韓国の言葉学習、歴史文化講演会、料理づくりなど、伝統、文化、歴史、言葉を学びます。

第1回目は、6月6日(月)午後6時30分~8時30分

場所: 農村環境改善センター1F 農事研修室

☆第1回目内容: 「写真で見る韓国」*第2回目以降の日程については随時お知らせします。

申込期間 5月9日(月)~13日(金)

ただし、定員になりしだい、締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。

申込先及び問合せ 伯耆町役場 企画振興課 (電話68-3113)